

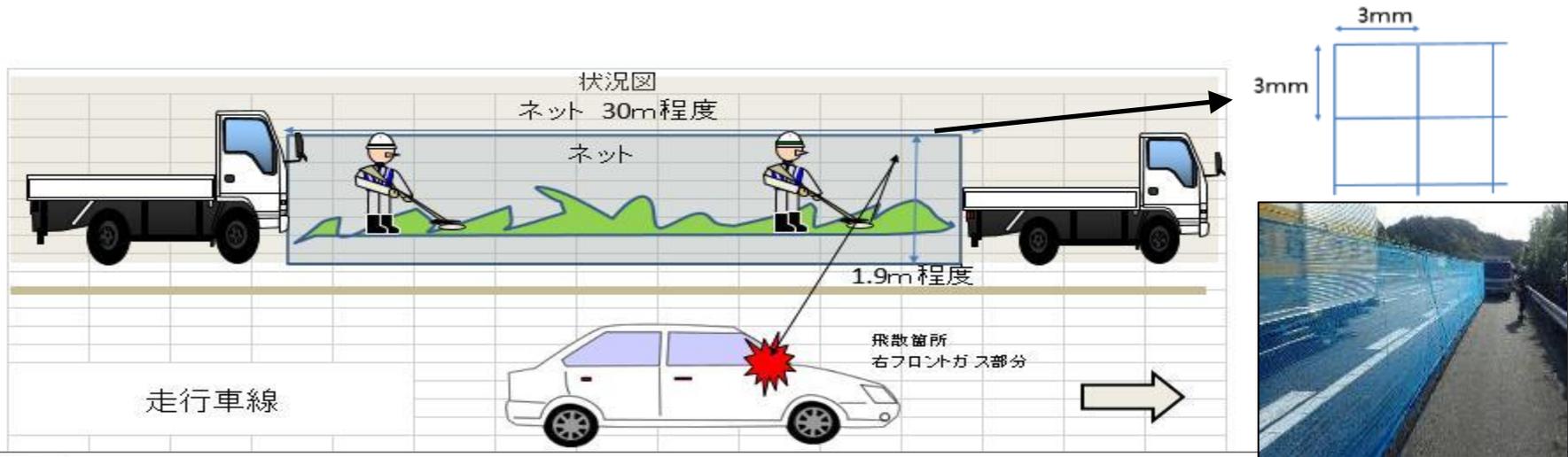
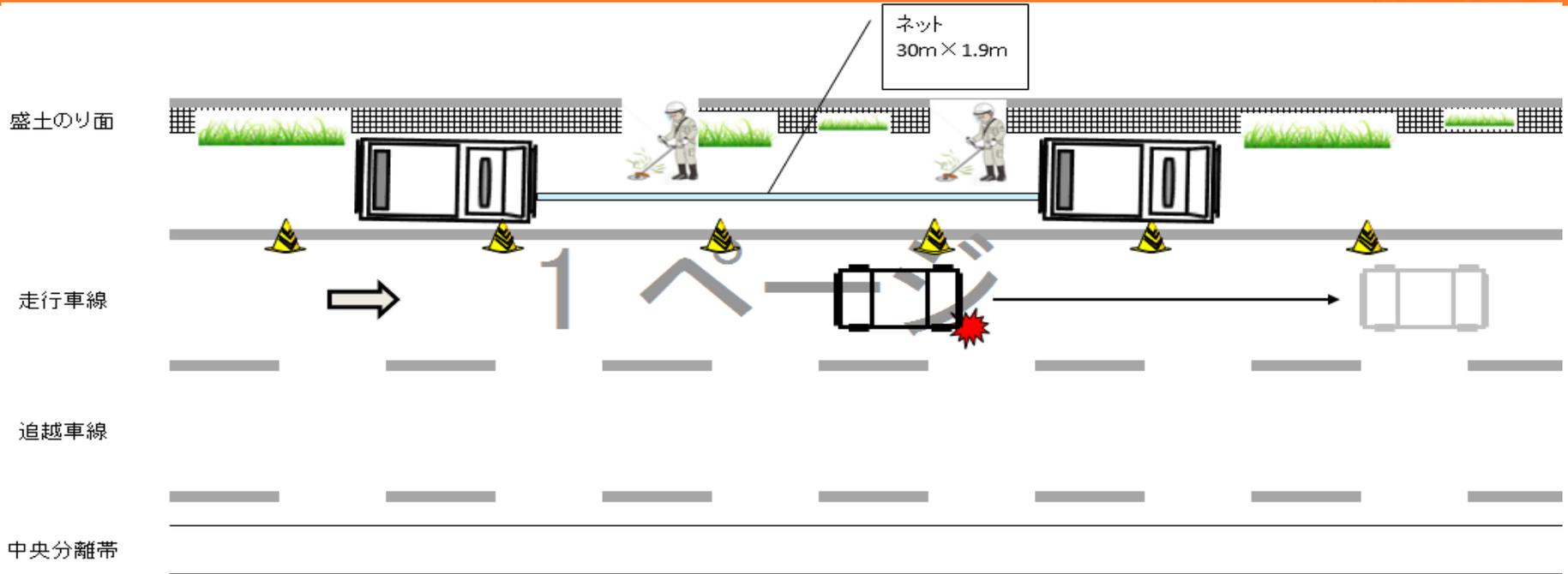
1. 草刈作業中飛び石による飛散事故

1. 発生日時 平成28年 10月24日(月) 15:50頃
 2. 発生場所 東名高速道路 ④308.0KP
 3. 当事者 XXXXXXXXXX
 4. 被災車両 普通乗用車 (一般車両)フロントガラス右側部分損傷
 5. 事象概要 上り線308.0KP付近にて路肩規制にて、刈払機を使用した草刈作業中に何らかの原因で飛び石が発生し、走行していたお客様の車両に当たり、損傷させたもの。
なお、飛石防止ネットは使用していた。
 6. 時系列
 - 15:30 ~15:50 事故発生
 - 15:50 お客さまから管制に緊急ダイヤルで連絡有
 - 16:00 豊田1号に石の検索出動指示(管制)⇒16:25発見できず
管制よりHSC当番課長へ連絡。事実確認調査依頼
 - 16:10 HSC担当課長より、メンテ現場代理人に「走行車両に飛び石があたった」と連絡
 - 16:15 HSC担当課長から、お客さまに電話で連絡(お詫び・状況説明・メンテより連絡する旨伝える)
メンテ現場代理人 本社担当課長に事故報告
 - 16:20 メンテ現場代理人より、電話にて被災者に連絡
メンテ作業中の事象と思われる事から、工事保険にて対応する事で相手了承
 - 16:30 メンテ現場代理人より、HSC担当課長に報告
- ≪10/25 8:30~9:30 緊急安全大会の実施≫

2. 事故位置図



3. 事故状況



4. 草刈作業状況写真



Gr裏側付近の刈払機による草刈作業



縁石付近のトリマーによる草刈作業



切土のり尻部の刈払機による草刈作業



飛散防止ネット

5. 原因と今後の対策(案)

【原因】

- ①刃と地面の接触を軽減させるため、刈払機にジズライザー(写真-①)を取り付け、作業を行っていたが、何らかの理由により、刃と地面が接触し石等が飛散したと思われる。
- ②飛散防止ネットを使用し、作業を行っていたが、破れや穴がみられており、その穴から飛散したと思われる。
- ③作業時に飛散方向を確認したが、本線反対側であったので大丈夫だろうという安易な気持ちがあった。

【今後の対策】

- ①本線作業時は、刈払機を使用しない。**作業はバリカン式トリマーを使用する。**
また、側道沿い作業では交通量を確認し、現場に応じてバリカン式トリマーと刈払機を併用で使用して作業を行なう。
- ②現在、飛散防止ネットを順次ターポスクリーン(写真-②)に変更しているが、作業時は張替えが完了しているものを使用する。
また作業開始前には破れ等の確認を行ない、損傷のあるネットは補修して作業を行なう。
- ③**バリカン式トリマーを使用する際も飛散防止ネットを使用する。**



(写真-①)



(写真-②)

ターポスクリーン(＃2039)